

責任投資グループのエンゲージメント

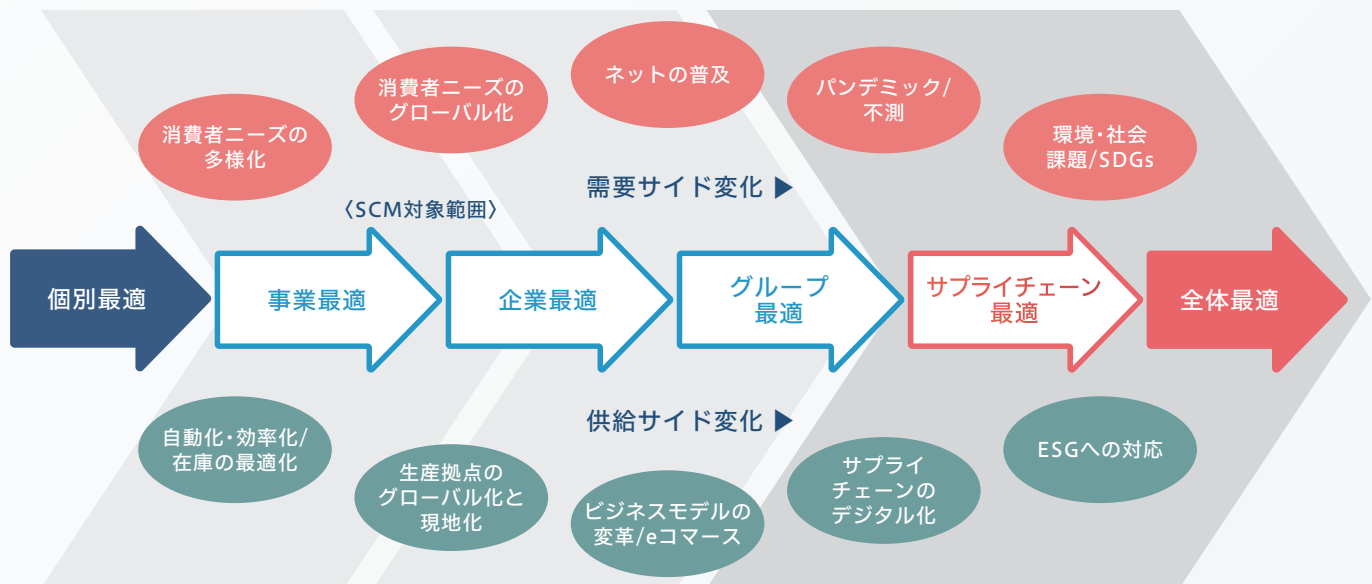
サプライチェーンマネジメント

サプライチェーンの見える化を実現し、環境・社会課題の解決を通じた企業価値向上に繋げる取組みを促す

サプライチェーンにおけるエンゲージメントの全体像

- サプライチェーン全体を通じたESGへの取組みが喫緊の課題
- 業界大手・ESG先進企業と取組みが遅れている企業双方と対話
- 新型コロナウイルスの影響等不測の事態も含めた取組み強化を支援

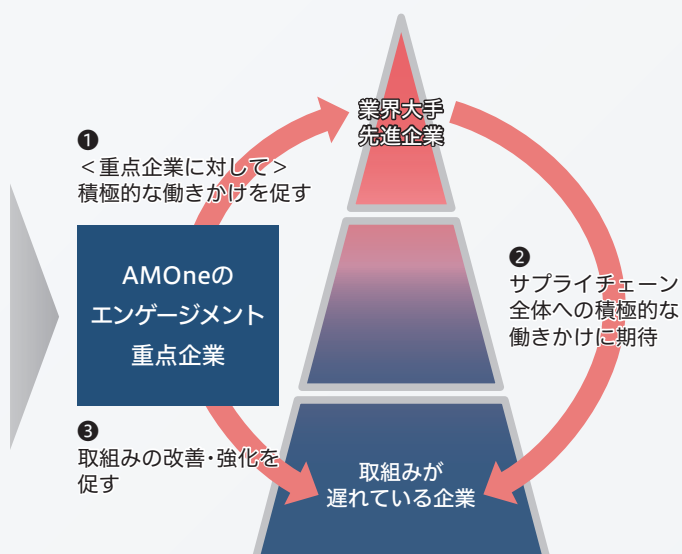
〈問題意識〉 サプライチェーン最適の実現



〈対話方針〉 市場全体の底上げに向けた独自の取組み

サプライチェーン	主な重要課題	目指すゴール
調達	CSR調達 (ESG4)	サプライチェーン全体での世界的な環境・社会課題の解決を目指すCSR調達、企業価値の維持・向上に向けた実効的な取組みとなっている。
製造	気候変動 (E1)	TCFDが求める水準の気候変動関連財務諸表が開示され、企業価値の維持・向上に向けた気候変動に対する実効的な取組みとなっている。
物流	労働基準安全衛生 (S2)	働き方改革(長時間労働の是正、非正規と正規社員の格差是正、労働力不足の是正等)の推進が、企業のリスク低減やリターン拡大に繋がっている。
販売	CSR/ESGマネジメント (ESG1)	CSR/ESGマネジメントが、企業価値向上を図るサプライチェーン全体を通じた取組みとして定着している。

※E1、S2、ESG1、ESG4等は当社内でのESG重要課題の課題コードです。





エンゲージメント事例紹介

調達	CSR調達 (ESG4)	タイヤ A社	天然ゴムのサプライチェーンは、何階層もの小規模農家、中規模から大規模の農園、原料ディーラー、加工工場、ゴム製品製造業者で構成されており、1社のみでの対応に限界があることから、業界としての取組みを積極的に推進していく方針を経営陣と共有。	▶	マイルストーン: 課題共有 (経営)
		食品 B社	持続可能な調達に関して継続的なエンゲージメントを実施。カカオ・パーム油・紙に加え生乳及び水のCSR調達について、サプライチェーン全体での取組み強化を促してきたところ、パーム油と紙は3~4年後、カカオは6~7年後をめどに目標達成を目指す方針を開示。	▶	マイルストーン: 施策実行
製造	気候変動 (E1)	電気機器 C社	気候変動への対応を事業戦略に結びつける取組みを強化しており、業界のみならず日本を代表するグループ企業としてリーダー的な動きを促してきたところ、事業ポートフォリオ強化の判断基準に、収益性に加え気候変動影響も考慮し始めたことを確認。	▶	マイルストーン: 施策実行
		陸運業 D社	物流はサプライチェーンの基盤。「働き方改革」が大きな課題となっており、それに係る諸施策に関して対話を継続。「勤務間インターバル制度」などの新しい働き方の制度の効果について意見交換。過重労働の大幅削減を確認。	▶	マイルストーン: 施策実行
販売	CSR/ESG マネジメント (ESG1)	アパレル E社	3年前にESGへの取組みの遅れを指摘したところ、社内ESGプロジェクトを立上げ、その後はUNGC署名、ILOとのパートナーシップ締結、更にファッション業界の気候行動憲章に署名するなど、サプライチェーン全体での取組みを加速。	▶	マイルストーン: 施策実行

評価・今後の対話方針等



- 消費者ニーズの多様化等に伴い複雑化するサプライチェーンをいかに把握し適切に管理することができるか、更に環境・社会課題の解決に繋がられるかが問われてきています。
- そうした中で起きた新型コロナウイルスの世界的な感染拡大(パンデミック)により、サプライチェーンの寸断・途絶等その弱さを露呈。強靱でしなやかなサプライチェーンマネジメントの再構築が求められてきています。
- AI/IOT等デジタル技術を活用したサプライチェーンの見える化を早急に実現し、環境・社会課題の解決を通じた企業価値向上に繋げる取組みを促していきたいと考えています。

エンゲージメントの状況・今後の取組み

サプライチェーン(CSR調達)に関するエンゲージメントでは、9割以上の企業において、エンゲージメントのマイルストーンが「4.課題共有(経営)」以上となっています。世界的な環境・社会課題の解決を通じ企業価値向上を図る上で、グローバルサプライチェーン全体を通じた取組みの重要性が認識されてきています。

【ESG4:CSR調達】

1. 課題設定	0%
2. 課題提示	0%
3. 課題共有(担当)	5%
4. 課題共有(経営)	21%
5. 課題着手	26%
6. 計画策定	21%
7. 施策実行	26%
8. 課題解決	0%

